

対策一覧表

【山内小学校】

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策要望内容	事業主体	実施状況	実施内容等	R8以降の予定
1	市道相野々駅前線	土洩字菅生	縁石付きの正規の歩道は中間の部分だけ、学校に近い部分は、車道と歩道を取り外し可能な柵で仕切られている。積雪期になるとその柵が取り外され、仕切りがなくなる。	①除排雪作業の徹底による歩道幅員の確保 ②路面標示（グリーンベルト）の設置検討	①②市	①完了 ②完了	②グリーンベルト設置済（H28）	①継続実施
2	市道鶴ヶ池線	土洩字鶴ヶ池	一部ガードレールの無い区間があり危険である。また、降雪期になると道幅が狭くなる。	①児童への交通安全指導（岸の反対側を通行） ②沿線の枯れ松処理	①学校 ②市	①実施中 ②実施中		①継続指導 ②倒木・枝折れしたのものについては随時対応。枯れ松末については随時伐採。定期的に道路パトロールをし状況確認している。
3	国道107号	土洩字下虫内	国道107号相野々橋と並行して歩道が設置されているが、橋と歩道の間転落防止柵がなく、危険である。	安全施設（転落防止柵）の設置検討	県	完了	転落防止柵設置済（H27） 転落防止柵一部再設置済（R6）	
4	県道横手東成瀬線	土洩字二瀬	①②県道横手東成瀬線相野々橋の欄干が低く、大変危険である。 ③橋前後の親中により歩道部分が狭くなっており、運転者・歩行者へ注意喚起。 ④山内体育館方向の橋の脇に川へ流れる急な側溝があり、転落する恐れがある。	①児童への交通安全指導（注意喚起） ②欄干の嵩上げ要望 ③橋前後の親柱を目立たせる ④転落防止策	①学校 ②～④県	①実施中 ②完了 ③完了 ④完了	②欄干の嵩上げ完了（R2） ③橋前後の親柱を蛍光塗料で塗り注意喚起実施（R3） ④転落防止策済（R4）	①継続指導（交通安全指導）
5	市道小学校菅生線	山内土洩字菅生	小学校へ入る丁字路に「止まれ」の標識が必要。	①警戒標識又は看板の設置 ②指導線の設置	①②市	①完了 ②完了	①注意看板設置済（H30） ②指導線設置済（H29）	

